

地域区分(案)

- 目指すべき都市像を実現するためには、世界一の都市としての活力を高め、世界中が憧れる魅力を備えるとともに、成熟した社会において、多様な人の活動、地域とのつながりをこれまで以上に重視する必要がある。
- また、これまでの都市づくりで培ったインフラなどのストックや地域資源等、地域の特性（強み）を最大限活用することで、地域ごとに特徴のあるまちづくりを進め、個性豊かな場を提供するとともに、それぞれの地域がインフラ等により相互に連携し、東京全体としての活力を生み出すことが求められる。
- 都民や国内外からの人々は、自分のライフスタイルや価値観の変化に合わせて生活シーン毎に地域を選択し、色々な活動を展開している。

【地域区分のイメージ】

■ (仮)都心域

大丸有地区、新宿駅周辺、渋谷駅周辺、品川駅周辺、六本木・虎ノ門地区、臨海部などを含み、常に変化を続ける国際的なビジネスハブを中心に持続的に連携・発展し、世界経済をリード。

■ (仮)都心連携域

区部のうち、都心域の外周で、都心域と密接に連携。

高密な鉄道網を活用し誰もが自由に移動でき、地下鉄駅の結節点では、アクセシビリティはもとより、にぎわいや防災などの機能も導入され、業務・居住など複合的な中高密度の市街地が連担。

■ (仮)都市環境共生域（区部）

区部のうち、木造密集地域を多く含む地域（概ね環7沿道～外環沿道）。

木密地域の解消と環状方向の交通利便性の向上により、水とみどりにあふれ、暮らしやすい住環境を再生・創出。

■ (仮)都市環境共生域（多摩）

概ね外環道沿道より西側で、多摩川より北側の武蔵野台地付近。

東西方向に延びる鉄道の駅を中心とした生活拠点、南北方向の道路整備により相互に連携し、子どもから高齢者まで、誰もが安心していきいきと暮らす。

■ (仮)新産業創生域（多摩）

概ね多摩都市モノレール沿線から圏央道沿道までの地域。

高い技術力を持つ企業や、アジアや世界から留学生が集まる大学の集積と、圏央道や幹線道路、リニアなど多様なインフラの活用により、つくば・埼玉・横浜方面など他圏域との交流が活発化し、新たな産業や雇用を創出。

■ (仮)自然環境共生域（多摩）

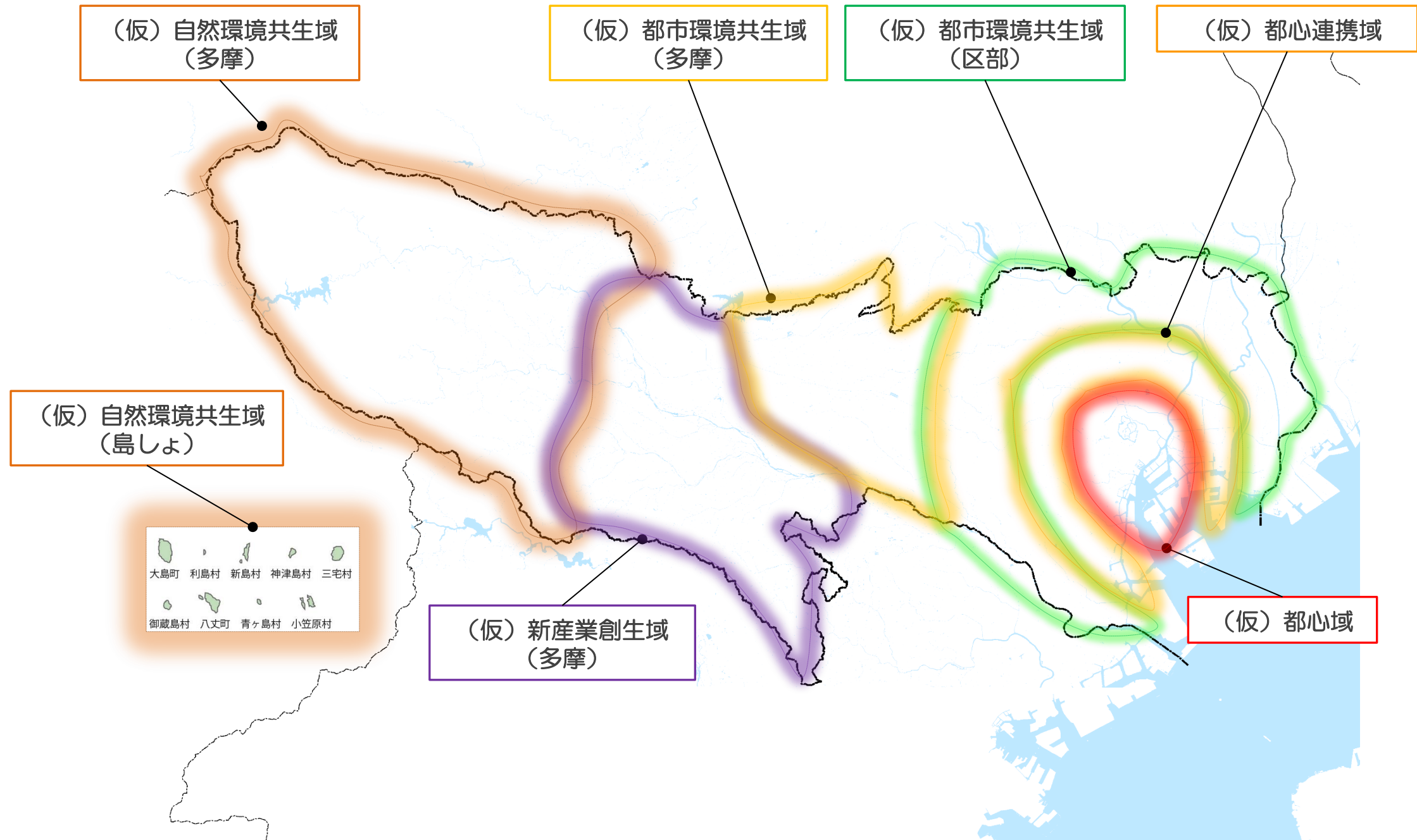
概ね圏央道沿道より西側の地域。

奥多摩の自然や地域資源などの魅力が国内外に発信され、二地域居住など豊かなライフスタイルが育まれる。

■ (仮)自然環境共生域（島しょ）

大自然の魅力が観光客をひきつけ、最先端の技術が安全な暮らしを支える。

地域区分(案)



※地域区分の名称及び範囲設定については、現時点で想定する案である。

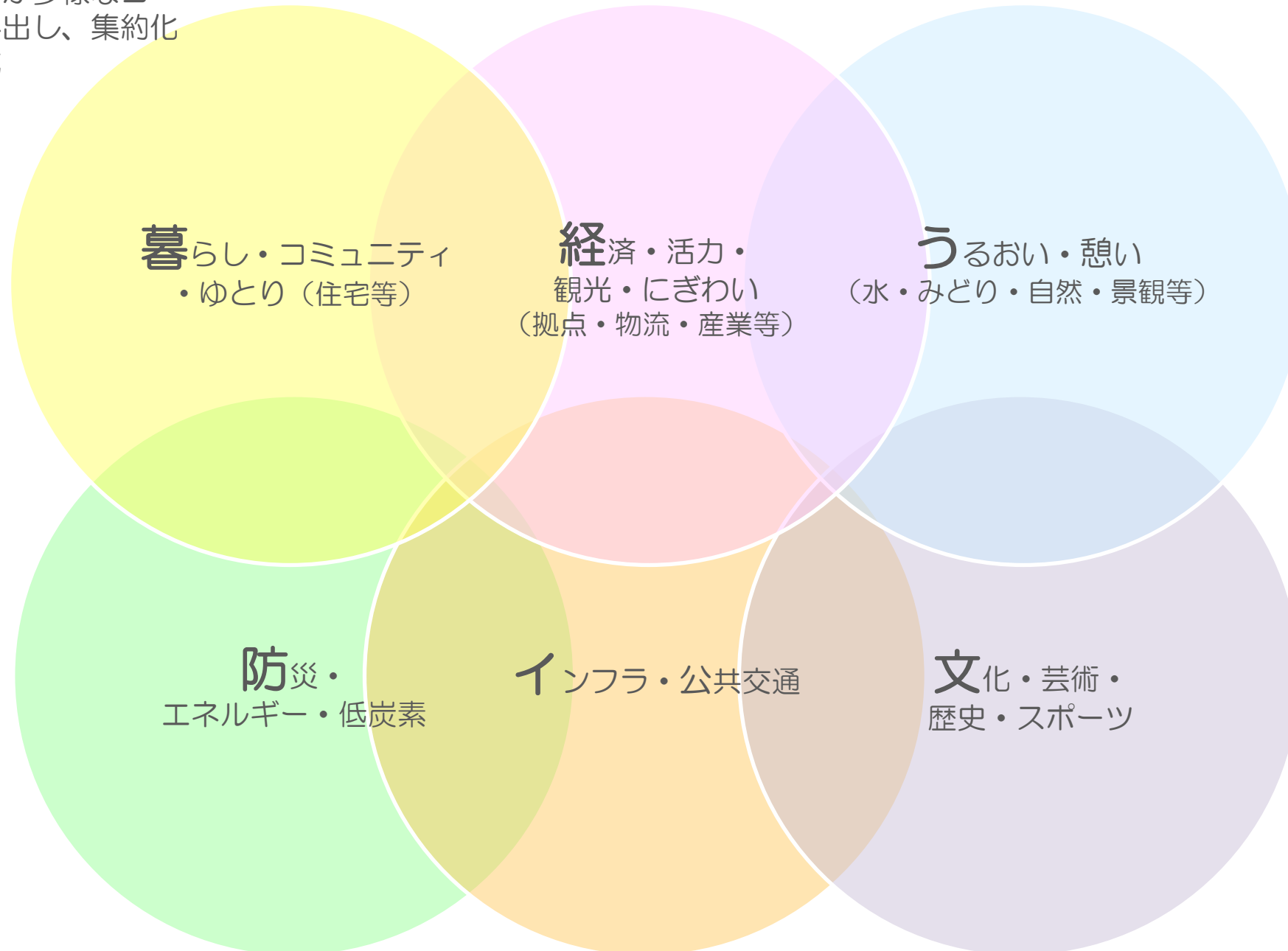
都市像(イメージ)のテーマ別キーワード

誰もが住み、働き、憩う場を選択できることで、それぞれのライフスタイルや価値観を創造

都市のゆとり空間が多様なコミュニティを生み出し、集約化された拠点を形成

世界の企業から選ばれる魅力を備えた国際ビジネス拠点が持続的に更新し、常に新たなイノベーションが創出

緑あふれる都市空間、水辺空間や豊かな自然が有機的に結びつき、四季折々の美しい風景が人々を魅了



甚大な災害リスクや環境問題への対応を進め、安全・安心で超低炭素なスマートエネルギー都市を形成

世界一発達した交通インフラに最先端の交通モードが組み合わさり、超高齢社会においても自由自在な移動を実現

道路や河川、公園など、都市の公共空間が、芸術やにぎわいの場として多目的に活用され、新しい価値や出会いを創造